

道徳科学習指導案

指導者 T 1
T 2

- 1 日 時 令和6年12月4日（水）5校時
- 2 学 年 第3学年（13名）
- 3 主題名 「相手を思いやる心」 [B 親切、思いやり]

4 ねらい

バスの中で、座れずに困っているおばさんを助けたいが声をかけることができない「わたし」の迷いや葛藤を考えることを通して、相手のことを思いやり勇気を出して進んで親切な行いをしようとする心情を育てる。

- 5 教材名 「バスの中で」
（「小学どうとく 生きる力3」 日本文教出版）

6 主題設定の理由

○主題観

本主題は、第3学年及び第4学年の内容項目[B 親切、思いやり]、「相手のことを思いやり、進んで親切にすること。」に基づくものである。これは、第1学年及び第2学年「身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること」からつながるものである。また、第5学年及び第6学年「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること」に繋がっていく。

困っている人や助けを必要としている人に対し、相手を助けたい、親切な行動をとろうとする態度は、よりよい人間関係を構築するうえで非常に重要である。しかし、恥ずかしさや迷いから行動にできないこともある。相手の状況を自分のこととして置き換えて考えることで相手の気持ちを想像し、進んで親切な行いができるようにと考え、本主題を設定した。

○児童観

○指導観

本教材は、満員のバスでよろよろしているおばあさんに席を譲るかどうかが葛藤する「わたし」の姿を書いた話である。「わたし」は周りの人の様子をうかがうが、おばあさんに席を譲る気配はなく、席を譲りたい気持ちでいっぱいになる。しかし、声をかけようと思っても迷いやためらいが出てしまい行動に移せない。そのときバスが大きく揺れ、おばあさんが大きくよろめいたのを見て、自分でも思いがけないほどはっきりとした声でおばあさんに席を譲ることができた。葛藤を乗り越えた「わたし」の姿から、相手の気持ちを思いやり、進んで親切にすることの良さを考えることができる教材である。

指導に当たっては、日常の生活を振り返りながら主体的に考え、道徳的価値についての考えを深められるようにしたい。そのために次の4点に留意する。

- ① 導入では、「知らない人が困っていたらすぐに助けることができますか。」と問い、自分の生活を振り返らせることで、本時の課題へとつなげていく。
- ② 展開前段では、おばあさんに声をかけようと思う「わたし」となかなか行動に移せない「わたし」の「二人のわたし」がいることを捉えさせる。ICT機器を活用し、自分の考えを明確化させることで、話しやすくする。また、親切にしようとする気持ちと声をかけることが恥ずかしいという気持ちの双方の思いについて共感させる。
- ③ 中心発問では、「心の中のあらそい」を終わらせたのが、「わたし」のおばあさんへの思いやりの気持ちであることに気づかせ、やっと声をかけることができたときの心情を共感的に捉られるようにする。また、挿絵の「わたし」の表情にも着目させ、親切な行動ができた清々しさについても共感できるようにする。
- ④ 展開後段では、改めて「親切にするとき大切な気持ち」について考え、相手の気持ちを思いやり、進んで親切にすることのよさを考えられるようにする。

7 準備物

- ・挿絵
- ・chromebook
- ・電子黒板

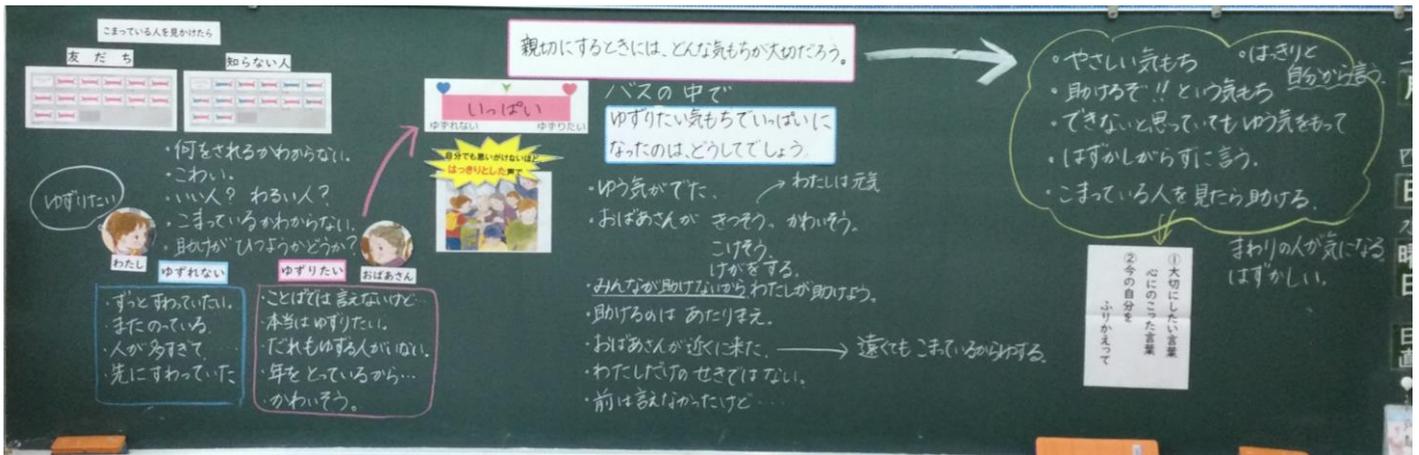
8 学習指導過程

	学習活動	○主な発問 ・児童の心の動き	指導形態		○留意点●評価
			T 1	T 2	
導入 (3分)	1 課題意識をもつ。	○知らない人が困っていたら、すぐに助けることができますか。 ・知らない人でもできる。 ・恥ずかしいからできない。 ・声が掛けられないかもしれない。	発問	板書	○児童の考えを聞き、課題につなげる。
		親切にするとき大切な気持ちはなんだろう。			

<p>展開前段 (27分)</p>	<p>2 「バスの中で」を読んで考え、話し合う。</p>	<p>○「二人のわたし」はそれぞれどんな気持ちがあったのでしょうか。</p> <p>ゆずりたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんを助けたい。 ・私が席を譲ろう。 ・立っておくのが大変。 <p>ゆずれない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声をかけたいけど恥ずかしい。 ・誰か言ってくれないかな。 ・勇気が出ない。 ・きんちょうする。 <p>【中心発問】</p> <p>○ゆずりたい気持ちが100%になったのは、どうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんが転んでしまうと大変だ。 ・わたしがおばあさんだったらすわりたいだろうな。 ・わたしが声をかけるしかない。 ・ゆずらないと後悔する。 <p>【考えを深める発問】</p> <p>○声をかけるのがはずかしいではありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんが困っているから譲りたい。 ・自分が恥ずかしくても、おばあさんを助けることが一番。 ・ゆずりたい気持ちが恥ずかしい気持ちに勝った。 	<p>発問</p> <p>発問</p> <p>机間指導</p> <p>発問</p>	<p>板書</p> <p>板書</p>	<p>○Canva の心情メーターを使い、「わたし」の中のゆずりたい気持ちはどのくらいなのかを表させる。</p> <p>○相手の置かれている状況を自分のことのように考え、親切な行為をしようとするが、なかなか行動に移せない「わたし」の葛藤している気持ちを考えさせる。</p> <p>○ゆずったときの気持ちを心情メーターに表させることで、ゆずりたい気持ちが100%になっていることに気づかせる。</p> <p>○大変そうなおばあさんを助けてあげたいと思い、声をかけることができた「わたし」の気持ちについて考えさせる。</p> <p>【キーワード】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・人任せにせず、自分から ・相手を思いやる ・相手の立場に立って </div> <p>●相手の立場になって考え、親切な行動を行うことの良さを感じている。 (道徳ノート・発言)</p>
<p>展開後段 (10分)</p>	<p>3 自分の生活を振り返る。</p>	<p>○親切にするとき大切な気持ちはなんだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを思いやる気持ち。 ・勇気を出して行動する。 ・相手の立場になって考える。 	<p>発問</p>		

終末 (5分)	4 学習の振り返りをする。	○相手の気持ちを考えて親切にした経験、親切にされて嬉しかった経験を振り返ろう。	発問 机間 指導	机間 指導	○自分の行動のよいところを振り返り、相手のことを思い切った親切な行いをしようとする意欲を高める。
------------	---------------	---	----------------	----------	--

9 板書



10 成果と課題 (成果…○ 課題…●)

- 主人公の葛藤を心情メーターを用いて考えることで、友達の考えに注目したり、考えを深めたりすることができた。
- 自分の考えと違う意見を聞き、共感することができた。
- 知らない人に親切にするときの難しさを見童がつかめておらず、中心発問で考えが深まりにくかった。

11 今後に向けて

- ・見童同士で積極的に考えの違いについて質問できるようにしていく。
- ・見童の考えが深まる発問の流れを考える。